

.....

第82期

中間報告書 株主の皆様へ

2020年12月1日 ▶ 2021年5月31日

.....

アステナホールディングス株式会社

証券コード：8095



Diversify for Tomorrow.



イワキグループはアステナグループに生まれ変わりました！

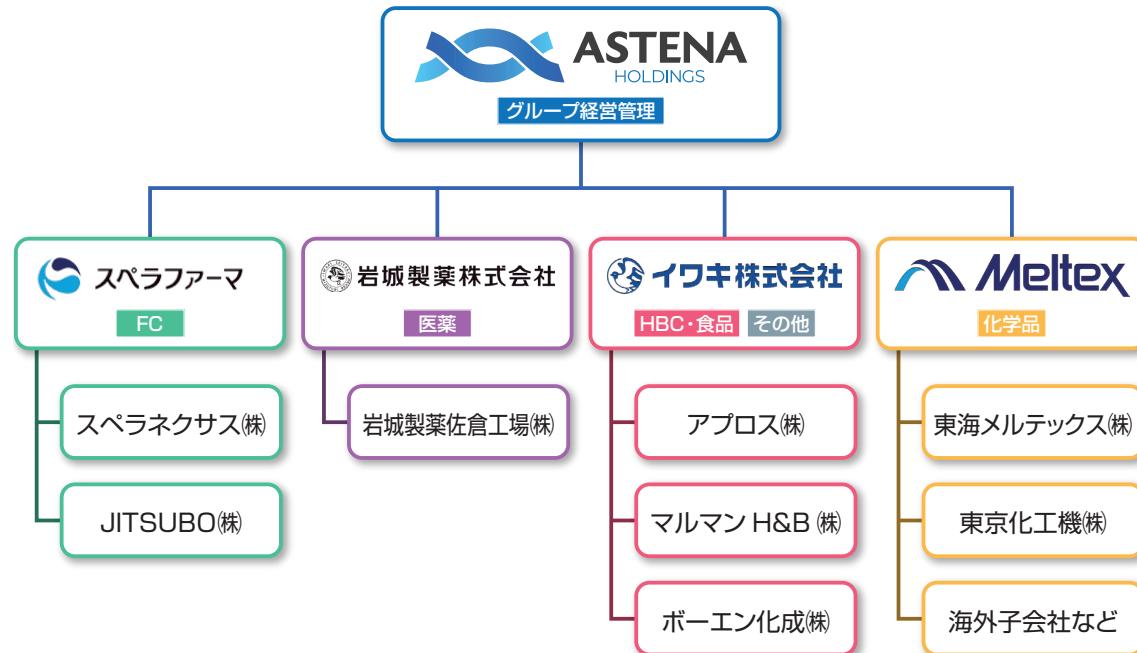
イワキ株式会社は2021年6月1日にアステナホールディングス株式会社へ商号変更しました。持株会社体制へ移行し、アステナホールディングスを核としてファインケミカル事業、医薬事業、HBC・食品事業、化学品事業の4事業の各社で構成されています。

Diversify for Tomorrow.



アステナは「明日（未来）」と「サステナブル（持続可能）」の造語であり、新たな経営・ガバナンス形態の下で、アステナ・グループのステークホルダーである皆様と当社自身が持続的に健やかな未来を迎えられるようなビジネスを行なっていく願いを込めております。

組織再編後



項目説明

- FC** ファインケミカル事業
- 医薬** 医薬事業
- HBC・食品** HBC・食品事業
- 化学品** 化学品事業
- その他** 医療機器販売事業、動物用麻酔錠販売事業、試薬等販売事業

Astena 2030 “Diversify for Tomorrow.”

グループ新中長期ビジョン策定の背景

当社グループは2016年1月発表の中長期ビジョン「Vision “i-1111”」の実現へ向けて各種施策に取り組んでまいりました。その結果、2020年11月期までの期間において、スペラファーマ株式会社や岩城製薬佐倉工場株式会社の譲受など、一定の取り組みの成果が出てまいりました。

そのような状況の中、当社は2021年6月に持株会社体制となり、また2021年は「Vision “i-1111”」の中間年にあたることから、新たに対象期間を2030年までとした中長期ビジョンである「Astena 2030 “Diversify for Tomorrow.”」を策定いたしました。

3つの基本戦略、7つのビジネスモデル

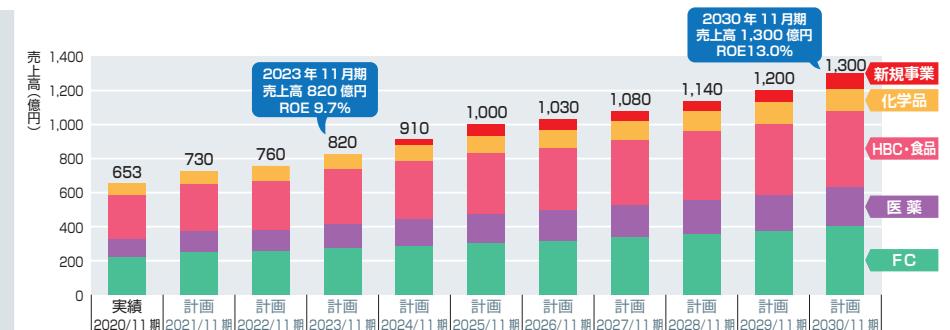
① 策揃え プラットフォーム戦略	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CMC(Chemistry, Manufacturing and Control) 医療用医薬品の研究開発を、国内トップレベルの水準で受託 ◆ ヘルスケア調達プラットフォーム 医薬品・化粧品・機能性食品製造販売会社の全ニーズをカバー ◆ 創薬インキュベーション CMCの提供を通じて、新薬開発の成功確率を高める ◆ CDMO 医薬品（注射剤・外皮用剤・治験薬）を受託製造 	ファインケミカル 事業 医薬事業 化学品事業 HBC・食品事業 新規事業
② No.1 ニッチトップ戦略	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外皮用剤ジェネリック医薬品 国内塗り薬ジェネリック医薬品市場No.1 ◆ ハイエンド表面処理薬品 エレクトロニクスに特化した表面処理薬品 	
③ 社会変革 ソーシャルインパクト戦略	<ul style="list-style-type: none"> ◆ シニア・アクティベイト 化粧品・機能性食品の提供を通して「シニア総アクティブ化」を目指す 	

2030年までの10年ビジョンを策定

**定量的ターゲット
(2030年11月期)**

連結売上高：1,300億円以上

ROE：13.0%以上





アステナホールディングス
株式会社

代表取締役社長 CEO

岩城 慶太郎

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、亡くなられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々の回復をお祈りいたします。一日も早く感染症が終息し、平穏な日々が戻ることを願っております。

ここでは、当社第82期第2四半期累計期間(2020年12月1日から2021年5月31日まで)における営業状況をご報告し、通期業績の見通しと株主の皆様への利益還元についてご説明させていただきます。

2021年8月

営業概況のご報告

第2四半期までの営業状況

中長期ビジョンにもとづく取り組みにより 全事業で増収し、利益も大きく改善

この半年間は、依然として新型コロナウイルス感染症が国内外の経済に影響を及ぼし、当社グループ事業を取り巻く市場環境は、前期の落ち込みから持ち直しの動きを示しながらも、一部では厳しい状況が続きました。そうした中で当社グループは、2030年に向けた中長期ビジョン「Astena 2030 “Diversify for Tomorrow.”」を掲げ、基本的戦略および定性的戦略を始動しました。その取り組みの結果、上半期は全ての事業セグメントで前年同期を上回る売上高を確保し、利益面もHBC・食品を除く各事業で大幅な改善を果たしました。

事業セグメント別に振り返ると、ファインケミカル事業は、ジェネリック新規品の採用や胃腸薬関連原料の好調に加え、グループ内の営業機能連携強化を進めたCDMO分野が業績に寄与し、増収・増益となりました。

医薬事業は、医療用医薬品分野で副腎皮質ホルモン剤などの外用剤や男性型脱毛治療薬、アトピー性皮膚炎治療薬が伸長し、一般用医薬品分野ではうがい薬、美容医療分野では美容クリニック向け化粧品が堅調を示しました。岩城製薬佐倉工場は、受託品の獲得と増産要請に対応し、好調に推移しました。結果として当事業の業績は、売上高・利益ともに前年同期を大幅に上回りました。

HBC・食品事業は、食品原料分野が「巣ごもり需要」の取り込みにより堅調に推移しましたが、一般用医薬品を主体とした卸売分野は、業界再編に伴う売上急減を受け、

厳しい状況となりました。そのため当事業の業績は、増収ながら営業損失を計上する結果となりました。

化学品事業は、表面処理薬品分野の主力製品が販売を伸ばし、製造能力を改善した表面処理設備分野も堅調に推移したことから、増収・増益となりました。

以上により上半期の連結業績は、売上高362億4千9百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益14億9千5百万円(同88.5%増)、経常利益15億7千4百万円(同94.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億7千5百万円(同80.8%増)となりました。

次の成長を目指す新たな展開

ペプチド化粧品開発プロジェクトを始動 新拠点でもSDGs関連事業が進行中

このたび当社グループは、中長期ビジョンの基本的戦略の一つである「ソーシャルインパクト戦略」を成果につなげるべく、新規事業のインキュベーションを担う「新規事業推進室」を設置しました。そして同推進室が主導する取り組みの第1弾として、人と環境にやさしく誰もが安心して使える「ペプチド化粧品」の開発プロジェクトを立ち上げました。単なる製品開発にとどまることなく、SDGsを明確に意識した取り組みとして注力していきます。

また当社グループは、商号変更・持株会社体制への移行と同時に、本社機能の一部を石川県珠洲市に移転し、BCP対応の強化を図りました。今後は2020年12月に設置した「ESG推進部」が中心となり、新拠点におけるSDGs関連プロジェクトを進めていきます。すでに新拠点

では、地域経済の活性化や雇用創出に寄与する取り組みとして、農場経営に着手し、健康食品・化粧品の原料生産とそれらの製品販売、地域ブランド化までを視野に入れたシニア・アクティブ事業をスタートしています。

通期業績予想と配当について

通期業績は増収・増益予想を継続 中間配当は1株当たり9円を実施

通期の連結業績は、期初の予想数値を変更せず、売上高730億円(前期比11.7%増)、営業利益26億円(同27.8%増)、経常利益27億円(同37.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益20億円(同0.8%増)を見込んでいます。

なお今回の中間配当は、利益還元の拡充を目指す方針のもと、予定通り1株当たり9円を実施しました。期末配当は引き続き同9円を予定しており、年間配当額は合わせて同18円(前年比2円増配)となる見通しです。

中長期ビジョンは、2030年11月期における「連結売上高1,300億円以上」「ROE 13%以上」を目標に定めています。グループ一丸となって「プラットフォーム」「ニッチトップ」「ソーシャルインパクト」の各戦略を着実に遂行し、3ヵ年中期経営計画のローリングにより業績を積み上げていくことで、目標達成を目指してまいります。

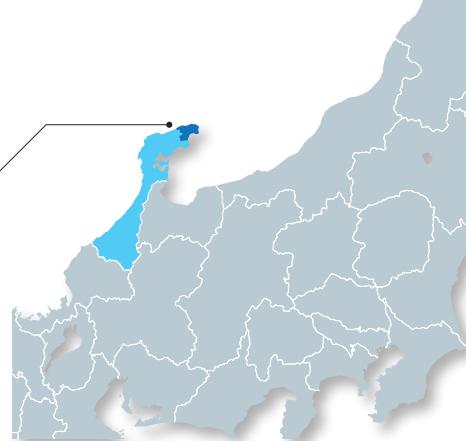
株主の皆様におかれましては、これからも長きにわたり当社グループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集：アステナホールディングス×石川県 珠洲市

石川県珠洲市のご紹介

珠洲市は石川県の能登半島最先端にあり、見附島、岬自然歩道などといった自然豊かなスポットが数多くあります。

人口約13,500人と本州に所在する市の中で一番人口が少ない自治体で高齢化率も高く、少子高齢化社会の最先端地域でもあります。また内閣府から2018年6月に「SDGs 未来都市」に選定されています。



新たな取り組みへの新拠点 文藝館・珠洲ESGオフィスのご紹介

石川県珠洲市蛸島町の市所有の文化施設“文藝館”を市から借受け「珠洲本社」を設立し、同市上戸町には「珠洲ESGオフィス」を設立しました。

「珠洲本社」には社長室やサテライトオフィスなどを配置し、「珠洲ESGオフィス」ではテレワーク業務効率化の一環で郵便物をデータ化し各部署に配信するほか、本社機能の一部（経理や人事業務）を担うことを予定しております。



文藝館



文藝館 内観



文藝館：蔵 内観
※文藝館の横にあった蔵を会議室に改造



珠洲ESGオフィス

今後の取り組み

今後は持株会社の社員120名を対象に、希望に応じて東京 or 珠洲での勤務を選べる仕組みをつくり、将来的には定期的に社員を入れ替えながら五割ほどが珠洲で働けるように計画しております。

本社機能一部の業務だけでなく、人口減少が進む地域の活性化事業の創出にも重点を置いていく予定です。

また、障害者雇用促進、農作物栽培の第6次産業への取り組み、珠洲本社のある鉢ヶ崎エリアの開発構想も進めていくことを計画しております。

株主様インフォメーション

株主優待制度のご案内

株主の皆様に対し、日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的にわたり継続して当社株式を保有していただくことを目的に、2019年11月期より株主優待制度を導入いたしました。

● 株主優待の内容

毎年11月30日現在の株主名簿に記載された100株以上かつ1年以上保有の株主様は、保有株式数と保有年数に応じて優待品をご選択いただけます。

保有年数	保有株式数	
	100株～999株	1,000株以上
1年以上 3年未満	Aコース 3,000円相当の自社商品 または 1,000円相当の商品・寄付	Bコース 5,000円相当の自社商品 または 2,000円相当の商品・寄付
	Bコース 5,000円相当の自社商品 または 2,000円相当の商品・寄付	Cコース 10,000円相当の自社商品 または 3,000円相当の商品・寄付

株主優待寄付金のお知らせ

本年度は、寄付を選択されました84名の株主様から、総額205,000円の優待品相当額の寄付金をお預かりし、下記のとおり寄付させていただきました。

寄付名義：アステナホールディングス株式会社

実施日：2021年6月25日

寄付先：日本赤十字社 東京都支部 205,000円

多くの株主様より温かいご芳志を賜り、心より御礼を申し上げます。

● 2020年11月期の株主優待カタログイメージ



株主優待FAQ

Q. 保有株式数と保有年数は何をもとに判定されるのですか？

A. 株主名簿上の登録日から割当基準日まで、同じ株主番号にて連続して株主名簿に記載されていることが条件となります。期間中の基準日における保有株式数が1度でも100株を下回った場合は対象外となりますのでご注意ください。

Q. 株主優待は、年に何回ありますか？

A. 年1回の実施です。毎年2月下旬頃に案内書の発送を予定しております。

Q. 優待品はいつ頃届きますか？

A. 3月末までのお申込み分は4月下旬頃、4月末までのお申込み分は5月下旬頃お届けとなる予定です。なお、5月以降に届いたお申込みはお受けできません。

お取引先様の課題解決に向けた様々なニーズに当社グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現し、変革スピードを向上させるため、プロダクト毎のバリューチェーンに従ってファインケミカル事業、医薬事業、HBC (Health & Beauty Care)・食品事業、化学品事業の4つの事業を展開しています。

売上高構成比 (第82期上半期)

(2021年5月31日時点)



ファインケミカル事業

イワキ株式会社 岩城製薬株式会社 スペラファーマ Titonbo

● 事業内容

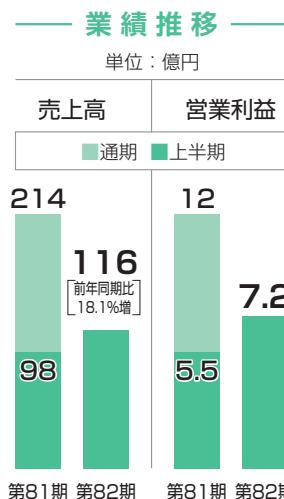
医薬品原料の製造から販売までを行っています。また、原材料調達からCMC研究開発、商用原薬生産までを行っています。



● 当期のポイント

医薬品原料販売分野、医薬品原料製造分野ともに新型コロナウイルス感染症の影響が続き、医薬品と原料の在庫が動かず、厳しい状況となっておりますが、堅調に推移。

CDMO分野では、ジェネリック新規品採用や胃腸薬関連原料の好調に加え、業績に寄与したことで売上・利益ともに堅調に推移。



医薬事業

イワキ株式会社 岩城製薬株式会社 岩城製薬佐倉工場株式会社

● 事業内容

医薬品の製造から販売までを行っています。また、創業支援サービスなどのバイオ関連事業や医療機器の販売を行っています。

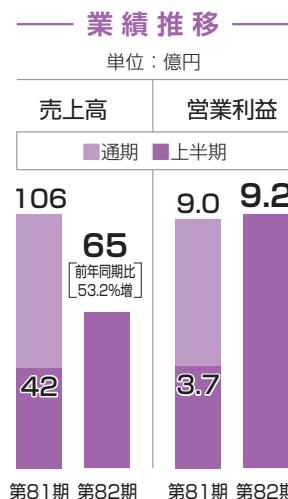


● 当期のポイント

医療用医薬品分野は、主力の副腎皮質ホルモン剤、外用剤、男性型脱毛治療薬やアトピー性皮膚炎治療薬の販売が伸長。

一般用医薬品分野では、主力品のビタミンC原末・提携外用新製品の売上が低調に推移したが、うがい薬の売上が伸長。

美容クリニック向け化粧品では受診減少が一巡、売上が堅調に推移。



HBC・食品事業

※HBC=Health&Beauty Care

イワキ株式会社 APROS maruman ポーエン化成株式会社

● 事業内容

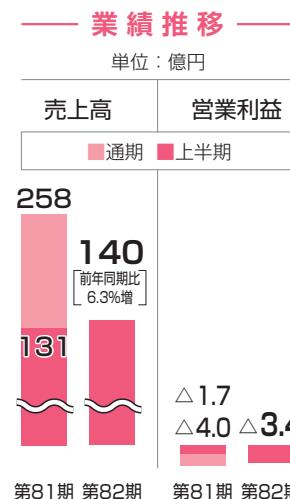
一般用医薬品、機能性食品原料・化粧品原料の販売、化粧品の通信販売及びOEMなどを行っています。



● 当期のポイント

一般用医薬品を主体とした卸売分野は、「韓国コスメ」の販売が好調に推移したものの、業界再編に伴う売上急減から、売上・利益とも厳しい状況で推移。

食品原料分野では「樂ごもり需要」の取り込み、機能性食品の需要の高まりから堅調に推移。

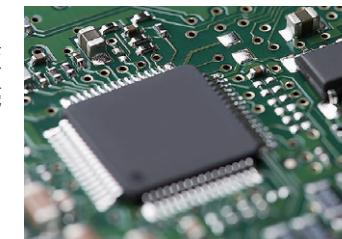


化学品事業

Meltex

● 事業内容

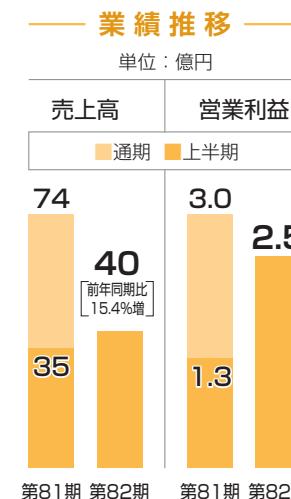
表面処理薬品の製造・販売、化学品原料などの販売を行っています。



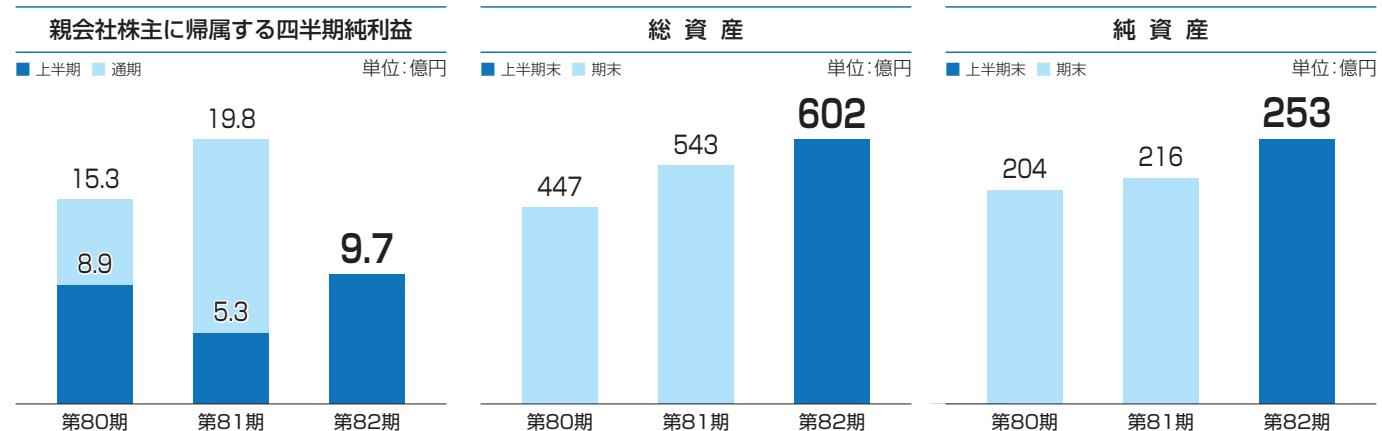
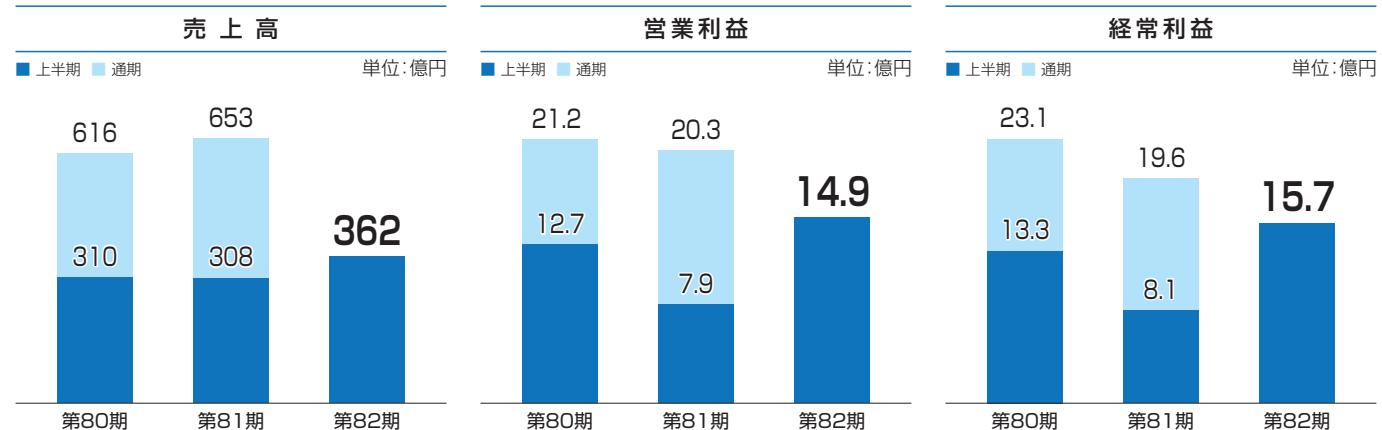
● 当期のポイント

表面処理薬品分野では、関連市場が概ね堅調に推移していることから、主力製品の販売が押し上がり、好調に推移。

表面処理設備分野では、昨年からの米中摩擦や日韓問題の影響はあるが、製造棟増築が完了し、製造能力が改善、目標受注も達成し堅調に推移。



	第81期上半期	→	第82期上半期
売上高	308億円	→	362億円
営業利益	7.9億円	→	14.9億円
経常利益	8.1億円	→	15.7億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	5.3億円	→	9.7億円



連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	第82期 第2四半期 2021.5.31現在	第81期 2020.11.30現在
資産の部		
流動資産	36,183	31,876
固定資産	24,056	22,442
有形固定資産	10,891	10,136
無形固定資産	8,204	7,467
投資その他の資産	4,961	4,838
資産合計	60,240	54,319
負債の部		
流動負債	25,536	22,926
固定負債	9,304	9,741
負債合計	34,840	32,667
純資産の部		
株主資本	24,207	20,486
資本金	3,938	2,687
資本剰余金	5,924	4,340
利益剰余金	14,614	13,942
自己株式	△269	△483
その他の包括利益累計額	1,188	1,164
その他有価証券評価差額金	1,053	1,082
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	114	73
退職給付に係る調整累計額	16	8
純資産合計	25,399	21,651
負債純資産合計	60,240	54,319

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	第82期 第2四半期累計期間 2020.12.1~2021.5.31	第81期 第2四半期累計期間 2019.12.1~2020.5.31
売上高	36,249	30,832
売上原価	27,676	24,055
売上総利益	8,573	6,776
販売費及び一般管理費	7,078	5,983
営業利益	1,495	793
営業外収益	142	125
営業外費用	63	107
経常利益	1,574	811
特別利益	1	18
特別損失	23	1
税金等調整前四半期純利益	1,552	828
法人税、住民税及び事業税	669	359
法人税等調整額	△93	△71
法人税等合計	576	287
四半期純利益	975	540
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	975	539

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	第82期 第2四半期累計期間 2020.12.1~2021.5.31	第81期 第2四半期累計期間 2019.12.1~2020.5.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,293	△491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,524	△5,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,605	7,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,413	1,457
現金及び現金同等物の期首残高	7,447	4,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,861	6,253

会社概要

社名	アステナホールディングス株式会社		
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号		
創業	1914年(大正3年)7月10日		
設立	1941年(昭和16年)9月20日		
資本金	39億3千8百万円(東証1部上場)		
社員数(単体)	120名	(連結)	1,353名
主な事業内容	グループ会社の経営管理等		
主要取引銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行		

取締役および監査役

代表取締役社長CEO	岩城 慶太郎	社外取締役	二之宮 義泰
常務取締役CHRO	大森 伸二	社外取締役	中川 有紀子
取締役CSO	畑澤 克彦	常勤監査役	山口 誠
取締役CFO	熱海 正昭	常勤監査役	磯部 俊光
社外取締役	越智 大藏	監査役	安永 雅俊
社外取締役	川野 毅	監査役	秋山 卓司

株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.astena-hd.com (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況

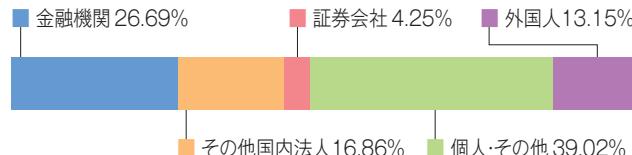
発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式10,688株を含む)	38,659,087株
株主数	20,267名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,677	6.92
株式会社ケーアイ社	2,051	5.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,979	5.12
株式会社CNV社	1,720	4.45
株式会社三菱UFJ銀行	1,188	3.07
岩城修	970	2.51
イワキ従業員持株会	930	2.40
株式会社大阪ソーダ	658	1.70
江本晋	650	1.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口・76082口)	636	1.64

(注) 持株比率は自己株式(10,688株)を控除して計算しております。

株式分布状況(所有者別分布状況)



(注) 小数点第2位まで記載(第3位以下は切り捨て)しております。
持株比率は自己株式(10,688株)を控除して計算しております。

WEBサイトのご案内

アステナホールディングスのホームページでは、様々な企業情報やIR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！皆様方からのアクセスをお待ちしております！



<https://www.astena-hd.com>